

Futaba R6208SB

S.BUS 対応 / FASST-2.4GHz (Multi-ch) 方式
8 チャンネル / ハイスピード 受信機



この度は弊社 S.BUS システム対応受信機 R6208SB をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

この R6208SB には S.BUS システム用の出力ポートおよび従来システム用のチャンネル出力が搭載されています。S.BUS システム対応のサーボやジャイロ等の他、従来システムのサーボ等も併用することが可能です。

その他、動作モード (ハイスピードモード / ノーマルモード) を選択できます。

※ただし、ハイスピードモードに設定した場合でも、従来システム用のチャンネル出力 7 ~ 8 はノーマルモードで動作します。

ハイスピードモード使用時の注意

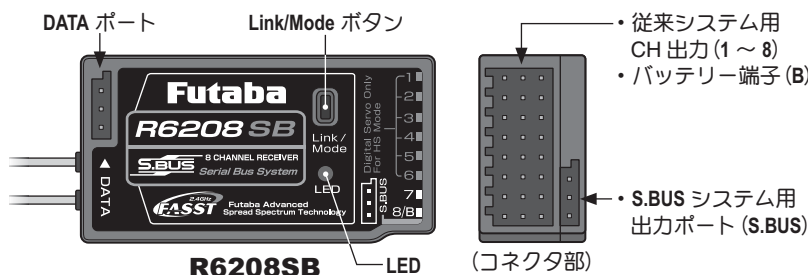
⚠️ 注意

⊘ **ハイスピードモード使用時、従来システム用の 1 ~ 6 チャンネル出力には、アナログサーボは使用できません。**

■ アナログサーボを使用するとサーボ故障の原因となります。弊社製デジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) または S.BUS サーボを使用してください。

■ アナログサーボは 7 ~ 8 チャンネル出力またはノーマルモードでご使用ください。

●この受信機は下表の FASST システム送信機およびモジュールに対応します。



FASST-2.4GHz 方式
送信機・モジュール 対応表

送信機・モジュール	受信機 R6208SB	
	TM-14 モジュール	Multi-ch モード
	7ch モード	-----
TM-10 モジュール	10ch モード	○
	7ch モード	-----
TM-8 モジュール	8ch モード	○
	7ch モード	-----
T10CG 2.4GHz 送信機	10ch モード	○
	7ch モード	-----
T8FG 2.4GHz 送信機	8ch モード	○
	7ch モード	-----
T7C 2.4GHz 送信機		-----
T6EX 2.4GHz 送信機		-----

○ : 対応します。 ----- : 対応しません。

[R6208SB 受信機仕様]

S.BUS 対応、FASST-2.4GHz 方式 (Multi-ch/10ch/8ch モード対応)、8 チャンネル

・アンテナ : ダイバシティー方式

・サイズ / 重量 : 24.9x47.3x14.3mm / 13.8g

・定格電圧 : 3.7 ~ 7.4V (使用可能電圧範囲 : 3.5 ~ 8.4V)

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

※ バッテリー / F/S 電圧は 4 セルニッカド / ニッケル水素バッテリー用に設定されています。その他バッテリーを使用の場合、バッテリー / F/S 機能は適正に動作しません。

● S.BUS システムについて

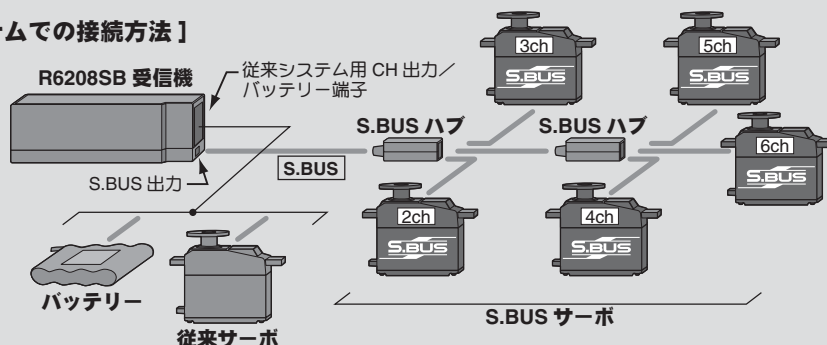
S.BUS システムでは従来のラジコンシステムとは異なり、操作信号は受信機からサーボやジャイロなどの S.BUS 対応機器へデータ通信により送信されます。

このデータには「チャンネル 3 のサーボが 15 度に、チャンネル 5 のサーボは 30 度に」といったように複

数の機器への指示がまとめて含まれており、S.BUS 対応機器はその中から自分に設定されたチャンネルの部分のみを実行します。

このため、サーボ等の複数の S.BUS 対応機器を同じ信号線に接続して使用することができます。

[S.BUS システムでの接続方法]



※ R6208SB 受信機の場合 S.BUS サーボと従来のサーボとの併用も可能

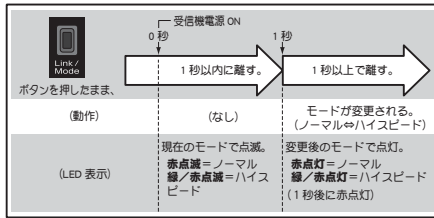
※ S.BUS サーボを別電源で使用する場合は、S.BUS 延長コード (2 分岐 / 別電源用) を使用します。接続方法は延長コードに付属の取扱説明書をご参照ください。

ハイスピードモード／ノーマルモードの変更

ハイスピードモードまたはノーマルモードへの変更は下記の方法で行ってください。(初期設定はノーマルモード)

- 1 受信機電源を OFF にします。
- 2 Link/Mode ボタンを押した状態で、受信機電源を ON にします。その後、Link/Mode ボタンは 1 秒以上保持します。(LED が現在のモードで点滅します。)
- 3 ボタンを離します。
- 4 受信機電源を OFF にします。

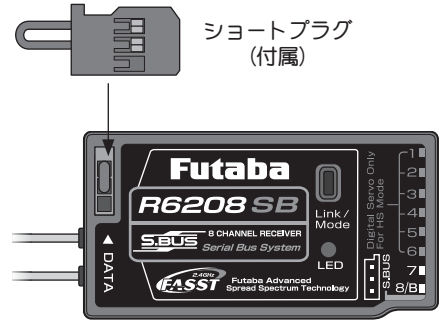
※ 上記の操作でハイスピードモードとノーマルモードを交互に切り替えることができます。



S.BUS サーボのチャンネル設定方法

R6208SB 受信機で S.BUS サーボのチャンネル設定を行うことが可能です。

- 1 受信機の DATA ポートに付属のショートプラグを接続します。



※ S.BUS サーボのチャンネル設定時のみ DATA ポートにショートプラグを接続してください。通常使用時はプラグを接続しないでください。

- 2 S.BUS サーボを設定したいチャンネルに対応する従来システム用の出力コネクタ (1 ~ 8) に接続します。

設定チャンネル対照表

出力コネクタ	設定チャンネル	
	A モード時	B モード時
1	1	9
2	2	10
3	3	11
4	4	12
5	5	13
6	6	14
7	7	15
8	8	16

※ チャンネル設定モードは A モード (1 ~ 8ch 設定モード) と B モード (9 ~ 16ch 設定モード) があります。同じモード内のチャンネル設定の場合、各出力コネクタにサーボを接続して同時にチャンネル設定を行うことが可能です。

※ 出力コネクタ 8/B (バッテリー端子) にサーボを接続する場合、受信機電源は出力コネクタ 1 ~ 7 の何れかに接続してください。

※ T14MZ 等のスイッチチャンネル DG1、DG2 は設定できません。

- 3 受信機電源を ON にします。

※ これにより、A モードで S.BUS サーボのチャンネル設定が完了します。

※ B モードでチャンネル設定する場合、上記の状態でも Link/Mode ボタンを 1 秒以上押し、LED が赤緑同時点滅を始めたら離します。これにより、B モードの設定に変更されます。

また、設定モードに応じて LED が下記の点滅表示となります。

- ・ A モード時：赤 3 回点滅
- ・ B モード時：緑 3 回点滅

- 4 受信機電源を OFF にします。

※ ショートプラグおよびサーボを外してください。

※ S.BUS ポートまたは S.BUS ハブにサーボを接続し、設定したチャンネルで動作することを確認してください。

【動作モードの確認】

受信機側のみ電源を ON にして、LED で動作モードを確認することができます。

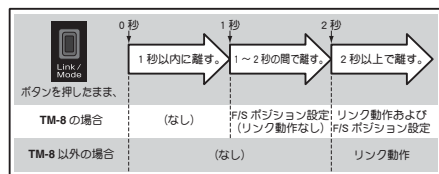
- ※ 受信機電源 ON 後：
 - ・ 赤点灯の場合はノーマルモード
 - ・ 緑/赤ともに点灯 (2 秒後に赤点灯) の場合はハイスピードモード
- ※ 周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されていない状況で確認してください。周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されている場合、上記のように一瞬点灯後、直ちに下表で示す状態表示に切り替わります。

受信機 LED 表示

緑色	赤色	状態
点灯	点灯	初期化中
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致

リンク操作および F/S ポジション設定

Link/Mode ボタンによりリンク操作または F/S ポジション設定 (TM-8 のみ) が可能です。



※ リンク操作、F/S ポジション設定方法等の詳細は、ご使用の送信機またはモジュールの取扱説明書をご覧ください。

警告

⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態でエンジンがかかった状態では行わないでください。

■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりすると大変危険です。

⚠ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を OFF とし、リンクした送信機で操作ができることを確認してください。